

【ワンペダル車の試乗（運転練習）時の留意点】

※安全に配慮し、広いスペースの場所で行って下さい。

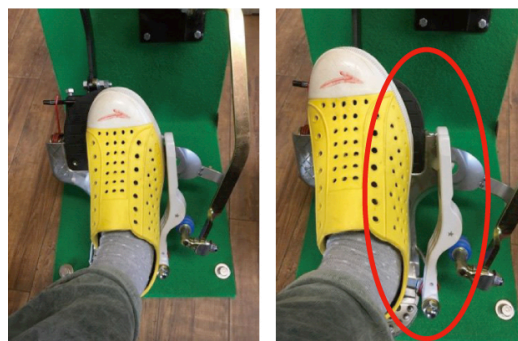
1. エンジンをかける前に、最初に座席位置の調整（前後）・操作要領の確認をしてください。

① 注）所定の位置（足の側面とアクセルレバーの間に隙間を空けずピッタリと合わせる要領で）

に踵（かかと）を乗せ、しっかりとブレーキが踏み込める位置に座席を調整します。

②次に、足を横にずらしながらアクセルの操作確認をします。

③急停止時は、アクセルをかけながらも、そのままブレーキを踏み込むと、アクセルが自動的に解除されることを確認してください。



○ 隙間を空けないようにピッタリと

✕ 隙間が空くとNGです。

2. まずバック（後進）にてブレーキの効き具合を確認めます。

①ブレーキを踏み込み、エンジンをかけます。（これまでの操作と同じです。）

②シフトレバーを『P』（駐車）から『R』（バック）にあわせ、徐々にブレーキを緩めバックします。※アクセルレバーは、まだ使いません。

③1～2メートル後進したらブレーキをかけ、車を停止させます。4、5回ほど繰り返してい、ブレーキの効き具合を確認してください。

3. 次に、同じ要領で前進させながらブレーキの効き具合を確認します。

※アクセルレバーは、まだ使いません。

4. ブレーキの効き具合の確認が済みましたら、アクセルレバーを徐々に使って運転してみましょう。シフトレバーは『D』（ドライブ）ではなく、はじめは『L』（ロウ）に合わせて練習し、慣れてきたら『L』⇒『S』⇒『D』へとシフトチェンジしていきましょう。

ワンペダル車で運転するにあたり、特にご留意いただくことは、下記二点です。

① 踵の位置を常に意識すること。

踵を支点にアクセルレバーを横に押す（スライドする）ようにして、アクセルを操作しますので踵がペダルの所定の位置にあることが重要になります。

② アクセルレバーは足首ではなく、膝の開閉で行うよう意識すること。

膝（股関節）の開閉を使ってレバー操作を行うと、楽にスムーズな運転ができます。

はじめの内は、足首を使いがちですが、徐々に膝を使う感覚を身に付けていきましょう。

5. 急停止の場合は、アクセルレバーは元の位置に戻す必要はなく、そのままブレーキペダルを踏み込んでください。勝手にアクセルは解除される構造になっております。

慣れてきたら、急停止の練習も行いましょう。

いつでも『踏めば止まる』との安心感が、“ゆとりのある運転”につながります！